

ふくしまと韓国の架けはしプログラムⅡ（派遣プログラム） （対象国：韓国，テーマ：韓国の農業関係者と交流し，これまでの交流先の定着と新しい交流先の拡大を図る）の記録

1. プログラム概要

福島県の農業関係者ら 50 名が 3 月 15 日から 21 日までの 6 泊 7 日間の日程で訪韓し、「韓国の農業関係者と交流し，これまでの交流先の定着と新しい交流先の拡大を図る」をテーマとしたプログラムに参加しました。

一行は，ソウルのほか，全州，金堤，公州，大邱，釜山，安東など，6 泊 7 日間にわたって，韓国の農業や食文化に触れ，全州と大邱では，それぞれの農業関係者や市民を招待し，大型の農食品文化交流会を行いました。プログラム中，福島から持ち込んだ米をはじめ，リンゴジャムなどの食品を交流する韓国の市民に食べていただき，福島の食品の安全性をアピールした他，SNS を通じて積極的に対外発信を行いました。

また，帰国前の報告会では，この訪韓経験を活かした帰国後のアクション・プランについて発表しました。

【訪問地】

韓国ソウル特別市，忠清南道公州市，全羅北道全州市，全羅北道金堤市，大邱広域市，釜山広域市，慶尚北道安東市

2. 日程

3 月 15 日（木）

入国（仁川空港），全州へ移動，オリエンテーション

3 月 16 日（金）

【体験】公州韓屋村にて百済国の王族衣服体験，公州市内をフィールドワーク

3 月 17 日（土）

【視察】鎮安馬耳山，ツリーハウス【体験】伝統菓子づくり，伝統うちわづくり，【歓迎会・交流会】日本の伝統芸を披露，福島なし農家によるプレゼンテーション，交流会に出席した皆さんに福島の米を使ったご飯，甘酒，もちを作り，福島で作ったリンゴジャムでおもてなし

3 月 18 日（日）

【視察】釜山チャガルチ市場，甘川文化村，海雲台

3 月 19 日（月）

【視察】薬零市韓医学博物館, 西門市場, 【体験】漢方足湯, 【交流会】日本の伝統芸を披露, 福島なし農家によるプレゼンテーション, 交流会に出席した皆さんに福島の米を使ったご飯, 甘酒, もちを作り, 福島で作ったリンゴジャムでおもてなし, 報告会(訪韓成果・帰国後の活動計画発表)

3月20日(火)

【視察】安東河回村, ソウル東大門市場

3月21日(水)

出国(仁川空港)

3. プログラム記録写真

	
<p>3月17日 全州大学の芸術の殿堂にて, 歓迎会及び交流会(福島の事務局が交流会参加者に米やジャムらをプレゼント)(全羅北道 全州市)</p>	<p>3月17日 ふくかんねっとで呼びかけた韓国全国からきた福島ファンの皆さん。大田, 郡山, 益山, 蔚山, 大邱, 釜山, 麗水, 濟州島から来た皆さんと, 福島民間交流ファンクラブ交流会(全羅北道 全州市)</p>
<p>3월 17일 전주대학교 예술의 전당에서 환영회 및 교류회(후쿠시마 사무국이 교류회에 참가한 분에게 후쿠시마산 쌀과 사과잼을 선물 전달)(전라북도 전주시)</p>	<p>3월 17일 후쿠칸네트가 한국 각지역에 소집한 후쿠시마 팬여러분. 대전, 군산, 익산, 울산, 대구, 부산, 여수, 제주도에서 오신 여러분과 후쿠시마민간교류 팬클럽 교류회(전라북도 전주시)</p>
	

3月17日 果物農家の福島の魅力のパワーポイントと映像で紹介(全羅北道 全州市)	3月17日 団員の日本伝統舞踊披露。福島復興にかける思いも合わせて伝えた(全羅北道 全州市)
3월 17일 후쿠시마 과일농가가 후쿠시마의 매력을 영상으로 소개(전라북도 전주시)	3월 17일 단원이 일본전통춤 선보이고 있다. 후쿠시마부흥에 임하는 자신들의 생각도 아울러 설명(전라북도 전주시)
	
3月17日 ツリーハウスにて、水野氏による日韓の歴史について講演(全羅北道 金堤市)	3月19日 大邱の交流会後、班ごとに報告会で発表(大邱広域市)
3월 17일 트리하우스에서 미즈노씨에 의해 한국과 일본의 역사에 대해 강의(전라북도 전주시)	3월 19일 대구 교류회가 끝나고 반별로 나누어 보고회를 열고 발표(대구 광역시)

4. 参加者の感想(抜粋)

◆ 日本国 社会人

- ・私は今回の経験を通して、福島と韓国の継続的な交流が大切ではないかと感じました。そして何よりも信頼関係が必要であると思います。なぜなら、伝えたい相手に信用されていなければ、いくら福島の農産物の安全性を伝えても、それを信じてもらえないからです。そしてその信頼関係を築いていくために必要なのが交流であると思います。私自身も直接現地の人たちと交流をすることで様々な気づきがありました。交流会の時に福島から持っていった食べ物を美味しいと言って食べてくださったり、たとえ言葉が通じなくてもその表情やしぐさから喜んだり楽しんでいることを肌で感じる事ができました。そこで興味関心をもった方々が交流に参加して、耳を傾けてくれる。少しずつかもしれないですが理解の輪を広げていくことが福島の風評被害の払拭に繋がっていくのではないかと思います。
- ・私はこのプログラムで韓国に行く前に心配していましたが、なぜかという日本と韓国は政治的に問題があり、韓国は特に食品検査に厳しく福島の食材はほとんど食べないということを知っていたので、韓国に行って仲良く出来るのだろうかと思っていましたが私が想像していたものとは全く異なり全州と大邱市民の方々はとても温かく迎えて下さいました。私たちが披露した舞踊を見て、「素晴らしかった」「これからも頑張るね」など握手と共にたくさんのお言葉を

かけてくださいました。メディアなど悪い情報にとらわれず、実際に人と触れ合うことで誤解が解けたり、人の温かさを感じられることを学びました。ふくかん農食品文化交流事業を通して学んだ SNS を有効に使い、福島の農食品の安全性、福島県のものを食べ福島で元気に生きているということを発信していきたいです。

- ・ 日本と韓国はとても近い距離にありながら、なかなか解けない問題を抱えているように思います。しかし、今回のような民間レベルでの交流事業に参加してみて、政治的ではない人同士の顔が見える交流の素晴らしさに気づきました。特に、福島はこのような交流スタイルでないとなかなか前に進まないように思います。交流の場にたくさんの韓国のみなさんがお見えになって、福島から持ち込んだ食品を食べて一緒になって福島の風評被害について考えてくれる姿にとっても感銘を受けました。これからも少しでも協力していきたいです。

5. 受入れ側の感想

◆ 自治体関係者等

- ・ 吾妻地区の地区同士交流実行委員との話し合いをするために、全州の孝子洞地区の実行委員長らが5月22日に福島を訪ねることになりました。これからの時代、民間レベルの草の根交流が非常に大事になっていくと確信しています。特に、全州の国際交流の将来を考えると、一方通行の交流よりは、全州と関わりのある地域と手をつないでいくことが肝心だと思います。福島の吾妻地区はそういう意味で大切な交流仲間です。

◆ 民間団体代表

- ・ 福島ファンを作るというこの事業の方針に賛成です。早速、来月には福島に出発することになりました。民間レベルでの交流が広がって行政を刺激することができると思います。また福島に対する風評は、民間交流の口コミで払拭していけると確信しています。

◆ 受入側ボランティア

- ・ 4月に福島へ行くことにしました。はじめは福島がとても危険な場所だと思っておりましたが、2月の福島県への招へい事業に参加し、すっかりファンになりました。これまでの日本に対するイメージをすっかり変えてくれました。福島の皆さんが一生懸命に私たちのためにやって下さる姿が忘れられません。今後は、福島の風評被害を減らすために私のできることをやっていきます。

6. 参加者の対外発信

 <p>Minako Watanabeさんが写真4件を追加しました。 3月21日 10:04</p> <p>「JENESYS2016ふくかん農食品文化交流事業」 3/19(日)韓国訪問5日目 大邱での日韓交流会にて、福島県産の食材を使ってお好み焼きやいなり寿司を作り、安全性をアピール!! 主人も大奮闘!! 皆さん美味しい!! と笑顔で食べて下さいました!! 小さな草の根運動が大きな花を咲かせる日が来ますように...</p>	 <p>小松田清美さんがAi Kikuchiさんの投稿をシェアしました。 3月21日 17:15</p> <p>Ai Kikuchiさんが写真22件を追加しました。 3月19日 2:03</p>
<p>3月19日 大邱での交流会のために、福島から持っていた材料で、いなりずしやお好み焼きを作る団員。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福島産の農食品が安全であるというアピールをするために飲食を提供したところ、参加した韓国の皆さんは「これまで誤解していた」と言って、おいしく食べていただきました。 	<p>3月17日 韓国の伝統団扇を作りました。韓国の伝統的な団扇をつくり、日本のそれとの比較を学び、団員は両国の比較文化へ関心が高まりました。</p>
<p>3월 19일 대구에서의 교류회를 위해 후쿠시마에서 가지고간 재료로 이나리스시와 오코노미야키를 손수 만드는 단원.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・후쿠시마산 농식품이 안전하다는 어필을 하기 위해 교류회에 참가한 손님들에게 음식을 제공했는데 “지금까지 오해가 있었다”고 하면서 맛있게 드셨습니다. 	<p>3월 17일 한국전통부채를 만들었습니다.</p> <p>한국의 전통부채를 만들고 일본의 부채와 비교하고 배우면서 단원이 양국의 비교문화의 높은 관심을 보였습니다.</p>

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

	
<p>3月15日 アクション・プランの発表1</p> <p>Facebookに「jenesys2016 ふくかん農食品文化交流」ページを作り、事業終了後でも続けて福島の農食品の安全を発信していくことにしました。</p> <p>・5班の団員から福島の農食品を継続して発信するためには、持続的なツールがほしいと提案してくれました。</p>	<p>3月19日 アクションプラン発表2</p> <p>農食品文化交流の継続プランについて話し合いました。韓国のサイドから農家訪問、農家同士の仲間づくりの提案がありました。JA関係の皆さんも一緒に「非常に前向きな話」として、1年に一回、相互訪問という形で、今後の計画を立てることになりました。</p>
<p>3월 15일 액션플랜 발표 1</p> <p>페이스북에 “jenesys2016 후쿠칸농식품 문화교류” 페이지를 만들고 사업후에도 계속해서 후쿠시마 농식품에 대한 안전을 발신하기로 했다.</p>	<p>3월 19일 액션플랜 발표 2</p> <p>농식품문화교류를 계속이어가기 위한 플랜에 대해 한국 팀들과 얘기를 나눴다. 한국측에서 농가방문, 농가끼리 친구만들기 제안이 있었다. 일본농협관계자도 함께 “대단히 흥미로운 얘기”로써 일년에 한번씩 상호 방문을 하는 방향으로 앞으로의 계속을 세우기로 했다.</p>